

マイ・タイムラインを使って

複合災害に備えよう！

風水害・感染症の流行

9月12日(土)は、令和2年度羽村市総合防災訓練

今年度の防災訓練は、「風水害」（感染症流行時も含む）に備え、市民の皆さんによる「マイ・タイムライン」作成および、避難所運営委員・市職員などによる避難所開設・運営を中心とした訓練を行います。この機会に家族でもう一度、風水害対策について考え、「自らの生命は自らが守る」ために必要な準備と情報収集をしましょう。

問合せ 防災安全課防災・危機管理係☎207

作ってみましょう！

マイ・タイムライン

ハザードマップで、自宅の場所を確認



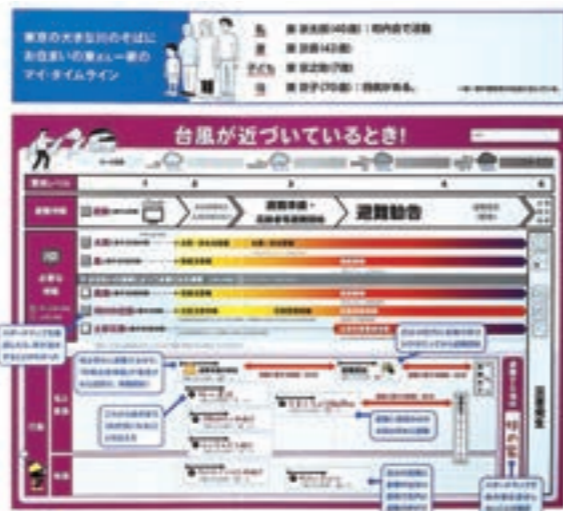
ハザードマップは浸水や土砂災害が発生する恐れの高い区域を色付けした地図です。

★羽村市ハザードマップは防災安全課で配布しているほか、市公式サイトでも確認することができます。

▲羽村市ハザードマップ（一部）



▲国土交通省ハザードマップポータルサイト。全国のハザードマップを確認することができます。



▲マイ・タイムラインシートの作成見本
記入したりシールを貼ったりして、自分と家族の緊急時の行動を「見える化」しましょう！

マイ・タイムラインシートを作成

- ① 避難する場所を記入する
- ② 避難のタイミングを考える
- ③ 避難準備の開始・避難開始・避難完了のシールを貼る

④ 避難開始までの行動を考えてシールを貼る

⑤ 地域に対しての行動を考える

★詳しくは「東京マイ・タイムライン作成キット」の説明を確認してください。

避難行動を具体的に考える

東京マイ・タイムラインを活用して、避難行動を確認！



▲東京マイ・タイムライン作成キット

市では、風水害発生までの避難行動を時系列に沿って整理できる「東京マイ・タイムライン作成キット」を、広報はむら9月1日号と一緒に、市内の全世帯に配布しています。

見学することができます

避難所開設・運営訓練

自主防災組織と市職員による、感染症流行下を想定した避難所開設・運営訓練を行います。避難所での訓練は自由に見学することができます。

シールを貼って確認するんだりん



「東京マイ・タイムライン」を活用することで、避難に必要な知識を習得しながら、避難行動を整理することができます。今回の防災訓練を機に、マイ・タイムラインシートを作成・活用し、いざという時の行動を家族などで話し合っておきましょう。

見学の際はマスクの着用や健康状態のチェック、ソーシャルディスタンスの確保など、感染防止対策を十分に行って来てください。 ※荒天の場合は中止とし、正午に防災行政無線および羽村市メール配信サービスでお知らせします。



▲羽村市メール配信サービス登録はこちら

マイ・タイムラインを作るときポイント 避難するときの状況を具体的にイメージしてみましょう

車での避難

徒歩で避難することが困難な方や風雨が強くなつてから避難せざるを得ない場合には、車で避難所へ避難することも可能です。その際は、感染症予防のため車中に留まることも選択肢の一つです。 ※車中避難には、エコノミークラス症候群などの健康リスクへの注意が必要です。 ※車中避難の場合も、避難所での受け付けが必要です。

分散避難

感染症が流行している時は、避難所に行くことで感染リスクが高まります。自宅の安全が確認できなければ自宅内にとどまる、安全な場所にある親戚・友人の家に避難するなどの分散避難も方法の一つです。

その他の備え

- 家の周りの危険を確認しよう
強風や大雨を想定し、自宅の周辺に飛ばされやすいものがないか、浸水対策用の土のうをどう準備するかなど、事前に確認しておきましょう。
- 家族防災会議を開いてみよう
避難する経路や方法の確認、感染症流行中の準備など、さまざまな状況下での家族の動きについて話し合ってみよう。
- 備蓄品を確認しよう
家庭内の備蓄品の消費期限などを確認し、非常時の持出しにも対応できるようにしましょう。
感染症対策用の物資（マスク、手指消毒液など）も忘れずに。

ペット避難の方法

災害時に、ペットを守るのは飼い主です。日ごろから、ペットの健康管理・身元表示をしつかり行い、ペットフードなど、ペット用の防災用品を用意しておきましょう。 また、ペットホテルや安全な知人宅など、預け先の確保や、車中避難によるペット同伴など、そのほかの避難方法についても考えてみましょう。



▲避難するとき知っておくべき5つのポイント